

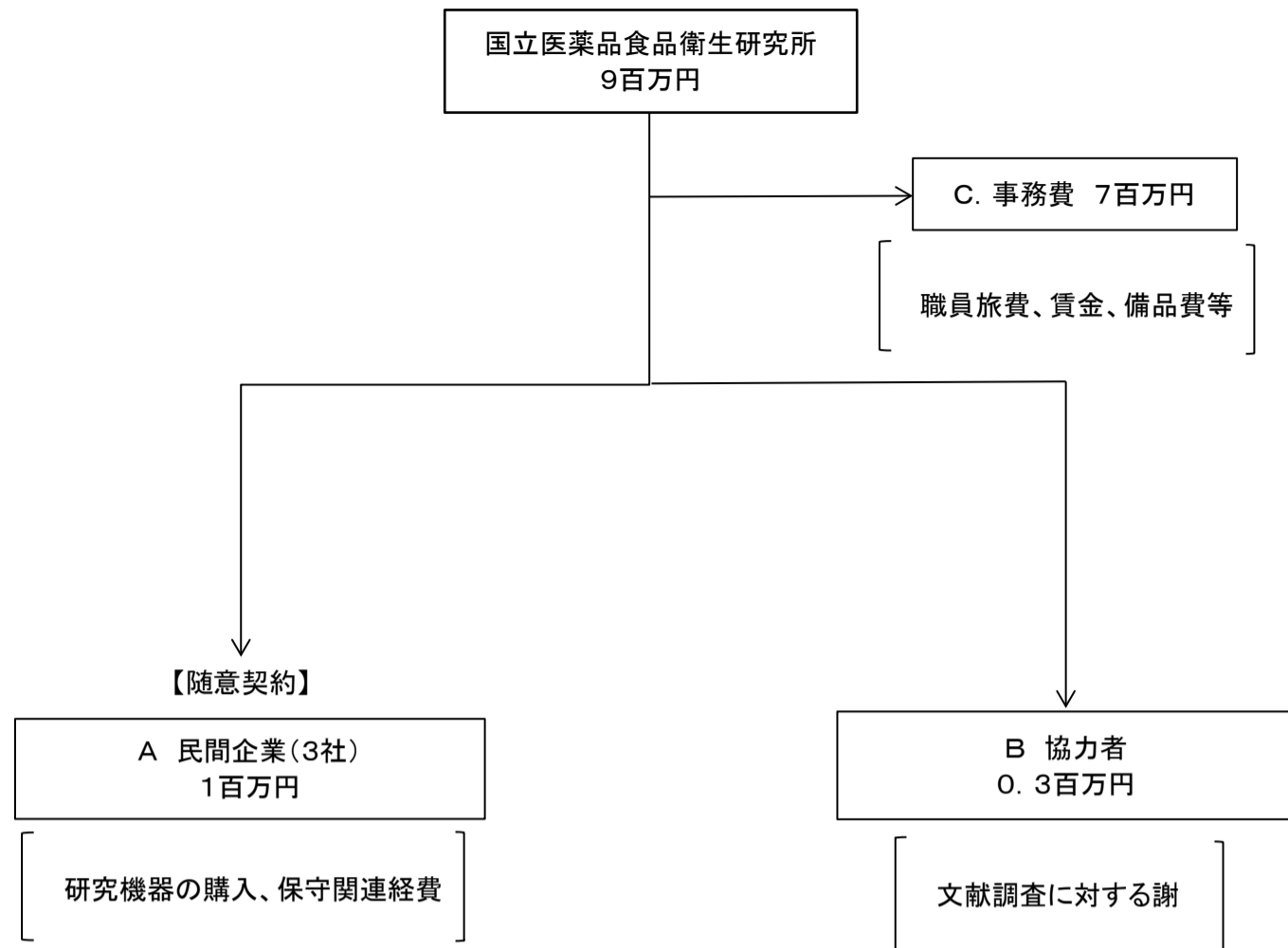
平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	総合化学物質安全性研究費 (生活環境暴露評価基盤研究費)		担当部局庁	国立医薬品食品衛生研究所		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成8年度		担当課室	総務部会計課		渡邊 裕一	
会計区分	一般会計		施策名	VI-3-4 国立試験研究機関の適正かつ効果的な運営を確保する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—		関係する計画、通知等	—			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	家庭用品等に由来する化学物質の生活環境中環境濃度データを収集し、暴露評価に資するためのデータベースの構築及び維持を目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	参加地方衛生研究所の所在地域に在住する一般市民の生活環境を対象として、 (1)当研究所に設置した暴露評価委員会での討議を踏まえて選定された化学物質を対象に、参加地方衛生研究所において一般居住環境での試料採取を行う。 (2)当研究所において採取試料中の化学物質濃度の測定及び室内環境での多経路暴露解析を実施し、データベースとして情報を集積する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算	12	9	9	8	8
		補正予算					
		繰越し等					
		計	12	9	9	8	8
		執行額	12	9	9		
	執行率(%)	100%	100%	100%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	調査検体数及び測定項目数 (各年度で検体の必要数が異なるため、目標値の設定は困難である)	成果実績	検体×項目	延べ1,232	延べ2,550	延べ2,600	—
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	調査従事者数	活動実績 (当初見込み)	人	2	2	2 ( 2 )	— ( 2 )
単位当たりコスト	3,300(円/延べ検体・項目)		算出根拠	平成23年度予算額/平成23年度成果実績数			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	0.3	0.3	消耗品費を見直したことによる減			
	職員旅費	0.4	0.4				
	委員等旅費	0.1	0.1				
	試験研究費	8	7				
計	8	8					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	本研究の実施により、あらゆる製品からの化学物質に対して安全性評価に立脚した一貫性のある規制の策定基準が構築でき、国民の生活環境の安全性確保に資する優先度の高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	国の室内濃度指針値の策定等に必要全国規模の暴露情報の集積事業であるため、国において実施することが適当である。
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	—
資金の流れ、費目・使途	△	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	少額随意契約の対象金額を超える案件については、一般競争入札を実施し、競争性を確保した。また、随意契約の場合であっても複数者から見積を徴収し、最廉価格の者と契約を締結した。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	少額の研究用消耗品等の購入の際にも複数者から見積を徴収し、最廉価格で購入するなど、単位あたりのコスト削減に努めている。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	—
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	必要な経費に限定されている。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	事業目的達成のために効率的な方法で実施しており、また毎年度成果も着実にあげていることから、他の手段と比較して、実効性は高いと考えられる。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	—
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	活動実績は見込みに見合ったものとなっている。
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	—
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名	—
○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	国の室内濃度指針値の策定等に活用されている。	
点検結果	<p>執行管理表により支出先及び使途等について管理を行い、経費の適切な執行に努めている。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>本事業は、医薬品食品、化学物質の安全性等の試験研究に必要な経費であり、執行状況等検証の上、必要な予算計上に見直すこと。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	<p>事業実績を踏まえ、事業に必要な経費を精査し、消耗品費の見直しを行った。 (反映額: ▲0.7百万円)</p>		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	584	平成23年行政事業レビュー	531

※平成23年度実績を記入



資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

A.島津サイエンス東日本(株)			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
備品費	研究機器の購入	1			
計		1	計		0
B.個人A			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
謝金	文献調査謝金	0.3			
計		0.3	計		0
C.非常勤職員			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
賃金	非常勤職員給与	5			
計		5	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロッ  
 クごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	島津サイエンス東日本(株)	研究機器の購入	1	随意契約	
2	(株)バイオテック・ラボ	ソフトウェアインストール作業	0.2	随意契約	
3	(株)菱化システム	ソフトウェア保守	0.01	随意契約	

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	文献調査業務	0.3		

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	非常勤職員	研究及び事務補助業務	5		
2	島津サイエンス東日本(株)	研究用備品の購入	1	随意契約	
3	(株)前田製作所	研究用消耗品の購入	1	随意契約	
4	(株)池田理化	研究用消耗品の購入	0.3	随意契約	
5	職員A	国内出張旅費	0.2		